

2023 明治安田生命 J3 リーグ 第 35 節 vs. カマタマーレ讃岐

11/12 (日) 14:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



2023 J3 順位表 第34節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	愛媛	67p	+13	54	41	A●	H△
2	鹿児島	58p	+18	54	36	HO	A●
3	富山	56p	+7	51	44	HO	A△
4	FC大阪	52p	+11	38	27	H●	A△
5	松本	52p	+7	50	43	H△	A△
6	今治	50p	+9	46	37	H△	AO
7	鳥取	49p	+4	49	45	AO	HO
8	奈良	48p	+10	39	29	A●	H●
9	岐阜	48p	+9	41	32	---	---
10	沼津	48p	+3	44	41	A△	HO
11	YS横浜	48p	-2	44	46	H●	A●
12	岩手	47p	+2	44	42	H△	
13	八戸	46p	-1	42	43	A●	HO
14	長野	44p	-9	44	53	H△	AO
15	讃岐	40p	-15	27	42	AO	
16	福島	39p	-9	30	39	AO	H●
17	琉球	39p	-18	39	57	HO	
18	宮崎	37p	-14	25	39	A●	H△
19	相模原	36p	-8	38	46	HO	A△
20	北九州	24p	-17	23	40	A△	

次回HomeGame

【今季最終戦】

第38節 vs. ギラヴァンツ北九州

12/2 (土) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯

煮込み珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00
※売り切れ次第、終了です
火、水、金、土 (祝日除く) 営業
TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10分

★ アミカ

ドミ
イン

JR
岐阜駅

today's guest : カマタマーレ讃岐

2022 J3 6勝9分19敗 勝ち点27:17位

直近の対決と結果

2023/05/14

J3 - 10節 @ピカスタ

讃岐 0-2 岐阜

窪田稜, 藤谷匠 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	カマタマーレ讃岐
2023/11/04 J3 - 34節 @長良川 岐阜 3-1 八戸	2023/11/05 J3 - 34節 @ピカスタ 讃岐 2-3 長野
2023/10/29 J3 - 33節 @富山 富山 1-1 岐阜	2023/10/29 J3 - 33節 @プラスタ 八戸 2-2 讃岐
2023/10/22 J3 - 32節 @長良川 岐阜 1-3 奈良	2023/10/22 J3 - 32節 @ピカスタ 讃岐 1-0 北九州

●全38節の2023年J3リーグも、残り5試合。11/4 (土) 第34節・ホーム八戸戦は、八戸の動きの良さに苦しめられ、ミドルシュートで先制点を奪われて前半を折り返す。しかし、後半48分に#42 柏木陽介のクロスに#23 萩野滉大がヘッドで合わせて同点に追いつくと、後半60分には#14 生地慶充と#9 山内寛史のパス交換で八戸の守備を崩し、最後は#9 山内が押し込んで逆転ゴール。そして後半65分には#7 村田透馬が右足を振り抜くと、相手DFに当たってコースが逸れたことも奏功して3点目。後半は岐阜の方が運動量で圧倒して、八戸に追加点を許さず、3-1で勝利。3試合振りの勝利を手にすることができた。

この試合結果により、FC岐阜の順位は13位から9位に上昇。首位・愛媛は連勝を続けており、勝点を67と伸ばしたが、2位 (= J2昇格圏) ・鹿児島は引き分けのため勝点は58に。鹿児島と岐阜との勝点差は10。残り4試合で岐阜が全勝して最終勝点を60に伸ばして、かつ鹿児島が積み上げる勝点が2未満であれば、岐阜が鹿児島を追い抜ける計算にはなるが、しかし確率的には非現実的な数字だろう。そして、残り4試合で鹿児島が1勝すれば、その僅かな可能性すら消滅する。だが、だからといって、今季の残り4試合が無意味になる訳ではない。リーグ戦の毎試合を最後まで全力で戦い抜くこと、ひとつでも多くの勝利を、ひとつでも上の順位を目指すこと、その姿勢をクラブを応援する地域の人々に示すことは、プロサッカークラブとして重要な目的であり、目標のはずだ。そして、勝点差±3以内に合計8チームが現在もひしめき合う、中位集団が形成されている今季のJ3。まだ、勝利を積み上げて上位を目指すことは十分に可能だし、目指さなければならない。それが、来季での目標達成にも繋がっていくはずだ。上野監督には、来季のチーム作りを視野に入れた若手選手の育成も実施しつつも勝利を目指すための、選手起用や采配を期待したい。

さて、今節の対戦相手はカマタマーレ讃岐。2019年にJ3に降格して以来、4年連続で下位に低迷しており、昨季の成績は17位。今季は、昨季まで町田でコーチを務めていた米山篤志氏を招へいし、J監督初挑戦のシーズンに。ただし、今季も大量に選手の入替えがあったことが影響してか、成績は低迷。直近5試合の成績は1勝1分3敗・6得点8失点で、順位は15位。ただし、おそらく讃岐も今季は“基礎固めの1年目”と捉えているように思える。今年10月には新たな練習場・クラブハウスが完成し、来季以降のチーム力向上に資するだろう。だからこそ、今季はしっかりと叩いておく必要があるとも言える試合だ。

讃岐で警戒すべき選手には、まずは#35 富永虹七を挙げる。今季、神戸でトップ昇格して9月に期限付き移籍、現在は2試合連続2ゴールと爆発している若手FWだ。だが、それ以上に警戒すべきなのは、やはり#48 川西翔太だろう。2019年から岐阜に在籍し、2021年には岐阜でJ3得点王となった男は、2022年に富山で活躍したものの、今季は出場機会が激減し、7月に讃岐に期限付き移籍。徐々にチームにフィットし、直近5試合で2ゴールと存在感を示している。また、2020年J3を圧倒的強さで優勝した秋田で、中心選手だった#7 江口直生のFKにも要注意だ。これら讃岐の攻撃陣を、昨季は讃岐に在籍していた#39 遠藤元一らの活躍で抑えることが、まずは勝利の鍵だろう。

讃岐との (Jリーグでの) 通算対戦成績は、FC岐阜の9勝3分5敗・26得点18失点。昨季のホーム戦、7/23 (土) 第18節は#9 山内寛のゴールで先制し、追いつかれたが#38 藤岡浩介の決勝点により2-1で勝利。前回対戦である今季5/14 (日) 第10節・アウェイ戦は、前半をスコアレスで折り返すが、#8 窪田稜、#17 藤谷匠のゴールで2-0。今節も、岐阜の選手たちが躍動してゴールを決める場面に期待したい。特に、5試合3ゴールの#9 山内寛史、2試合連続ゴールの#7 村田透馬には、さらに記録を伸ばす活躍を見せて欲しい。

10月には冬の訪れを感じさせたと関わらず、11月に夏日が連日訪れる季節外れの天候。我々FC岐阜サポーターの心も、シーズン最後まで熱く保っていこう。今節も、最後まで勝利のために、走り続ける岐阜の選手たちの背中を、最後まで後押しする応援をしよう。そして、今節もホーム長良川で、勝利の歓喜と共に“HYPER CHANT”を歌い上げよう。

(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第34節】岐阜3-1八戸

●今季のJ2昇格の可能性がほぼ消滅し、11/1に#42 柏木陽介の現役引退が発表されてからは、初となる試合。その決断を惜しむ声も聞かれるけれど、たしか、かつて名波浩は「ボール1個分、2個分ずれる」と35歳で引退を決めたハズ。#42 柏木も昨季アキレス腱断裂を経験して、そういう心境に至ったのかもしれないと僕は思う。

さて、そんな状況ではじまった試合は…ええと、明らかに八戸の方が押ししてるんですけど（溜息）。前線での厳しいフォアチェックと同時に守備陣の素早い戻り。そのチェックでボールを奪われたり、何とかプレスをかわすことが出来たとしても前線での人数が足りずに八戸の守備を崩すことができない岐阜の攻撃陣。特に、やはり#90 オリオラ・サンデーに手を焼いて、先制点を許した場面も#90 オリオラのポストプレーからのもの。んで、確かに丁寧にコースを狙い澄ましたミドルだったから相手を誉めるしかないかもしれないけど、フリーにさせ過ぎて、あれじゃ時間掛けて狙われるよねえ…（溜息）。

直近5試合で5得点、シーズン通しても今季の岐阜の平均得点は1.15。先制されると途端に苦しくなるので、このまま後半も…と思ったんですが、急にスイッチが入る岐阜の選手たち。後半3分に、#42 柏木陽介のクロスをもつて#23 萩野滉大がダイビングヘッドで合わせて同点弾（そして祝・J初ゴール!）を叩き込んで同点に追いつく。その後も攻撃の…というか、#10 庄司#42 柏木の2ボランチの位置が明らかに高くなってたし、他の選手たちも運動量が増えて、八戸の選手たちを上回っていた。んで、積極的に動いてるからバックパスの回数も激減し、敵陣・縦へのパスが増加。後半60分には、#14 生地慶亮と#9 山内寛史がPAに侵入しながらパス交換。相手DFを崩しきって、最後は#9 山内がボールを押し込んで逆転ゴール! なにそのオシャレなゴール!? できるんなら最初からやってよね!（苦笑）そして後半65分には、#7 村田透馬がしっかりと右足を振り抜くと、相手のクリアミス（ディフレクション?）にも助けられて3点目! やればできるやん! 前半から、このサッカーを…いや、『このサッカーを90分間続けることが出来ない』のかも? と僕は思った。だって後半は特に、ポジションの入れ替わりやDF選手の前線への飛び出しなど、かなりの運動量と判断力が求められるサッカーをしていたと思うのです。これ、やってる選手たちも楽しいかもしれないけど、相当に疲れるのでは…。

#31 大野哲煥のビッグセーブ等にも助けられ、後半は無失点で切り抜けた岐阜。2点差をつけて後半ATにはじまる“アイダ”、そして3-1での勝利。いやー、やっぱりサッカーは前後半90分のトータルで勝負を決するスポーツなんだということを、改めて（良い方向で）痛感することになった試合でした。

（ささやく）

●ゴール裏に出た一発ダンマク。第一印象は「ラップかよ!」と。『ぞ』が入ってたのが惜しかった（笑）。でも、42番に想いは伝わった…と思う。思いたい。『引退』を自分で決められる選手は極少数。で、ウチの42番はソノ中の一人と思ってる。カレが来季も「選手としてガンバるよ。」と言ったら引退はなかった。だけど、彼自身が【選手・柏木陽介】として満足のいくパフォーマンスが出来なくなった。そう思って決めたら、ソレはもう仕方がない。彼の意思を尊重するのみ、ですな。

さて、試合。前半終わったら帰ろうか、と思うくらいの体たらく。あのままだったら「カネ返せ。」とヤジられてもやむなしな内容。ただ、「こっから、逆転! ……が一番楽しいんだよ（苦笑）」と自分自身に言い聞かせて見ていたら……ライ、マヂか! という展開。やっぱり、前節の富山戦を現地観戦してたからね。うん、逆転勝利を信じとったよ（ｷｯｯ）。

とにかく、疾風怒濤とでも言いたくなるような20分間。そんなん出来るんなら、もっと前からやってよね! 特に2点目! チョルフアンのゴールキックから得点までの間、一度も八戸に渡すことなかったよね? いったい、何人繋いだの? と数えたら、ヒロフミまで、なんと延べ25人! (DAZNでのチェックは2回。間違ってたらすイマセン。) しかも、陽介がオイちゃんに繋いでからは、相手の人数も揃ってる中央を堂々と、だよ!? 夢でも見てるのか? と思うくらいの得点シーン。『今季のベスト・ゴール』で間違いなし（現時点での、ね。もっと、スゴイのを見せてください!）。

それから、『J初ゴール』おめでとう! 萩野くん。けどさ、キミ、左SBでの出場だよな? それが左サイドのクロスに全く絡まず、真ん中引いたトコロで待ち構えてるとか。もう、笑うしかないね。

そんな試合のヒーローが陽介。どう見たって、萩野がヒロフミなんだけど。諸般の事情があるんでしょう。商魂逞しすぎるゾ、グッズ担当。もっとヤレ（笑）。こうなったら、残りのホーム2試合も、わかりやすい得点かアシスト決めて、クラブの売り上げに貢献してくださいね♪ >42番（ぐん）

●「前半と後半で違うチーム」ってのはよくある形容なんだけど、この試合でそれが適用されたのは相手の八戸の方だった。ウチがハーフタイムに修正したんだよね。うん、きっとそうだよね!（笑）

1点目のピンポイントクロスも美しい（あの隙間に左SBの萩野が飛び込んでくると信じて上げた陽介も、信じて飛び込んでった萩野も美しい）けど、なんてたって2点目だ。右に開いていた陽介から中のおいちゃんへ、そこから縦にトーマ→ヤマヒロ→おいちゃんと短くつなぎ、折り返してヤマヒロ。ラブリ。マーヴェラス。オーサム。賞賛の形容はいくらでも出てくる。右SBがゴールエリアまで突っ込んできて、相手GKの鼻先でFWにマイナスのパスなんて。「どうしたんだ、ハーフタイムに何か吸ったのか?」（←比喩です）ってくらいの美しさだ。ホントにヤマヒロの良さ、「仲間を活かし、自分も生きる」プレースタイルが花開いたゴールだった。にも関わらず、ヒーローに指名されたのは陽介。でも、インタビューの直後に「ああ! そういうことね!」。『博多子純情』の小柳類子のように「こすかぁーっ!」と叫んでしまった（笑）。いや、もちろんホメ言葉（笑）。なんなら、この讃岐戦も最終の北九州戦も柏木にヒーローになってもらいましょう。チームメイトも文句は言わないはず（笑）。

（吉田鑄造）